

BIOHORIZONS

ティッシュレベルインプラント
カタログ&外科マニュアル



BIOHORIZONS®
SCIENCE • INNOVATION • SERVICE

目次

ティッシュレベルインプラント カatalog&外科マニュアル

ティッシュレベルインプラント	1
カバーキャップ&ヒーリングアバットメント	2
補綴コンポーネント	3
使用時の注意	4
外科術式&インプラントの埋入間隔	5
サージカルキット&ドリルシーケンス	6
ドリルのマーキング&使用上の注意	7
インプラントの取り出し&埋入	8
術後に考慮すべき要件	9

ORDERING INFORMATION

ご注文・商品の発送方法

商品のご注文について

当カatalogに掲載されております製品につきましては、ご注文の際に包装単位、価格および製品番号をご確認の上、必ず製品番号でご注文くださいますようお願い申し上げます。

なお、掲載の製品写真につきましては原寸表示ではありませんのでご了承ください。

送 料

- 1納品先1回のご注文が5,000円(税込5,500円)未満の場合、800円(税込880円)をご請求させていただきます。
- タイム便などのお急ぎの便をご希望の場合、上記とは別に料金をご請求させていただきます。

お 願 い

- 製品番号以外のご注文は受けかねますのでご了承ください。
- 製品は改良のため仕様、外観の変更、製造中止など予告なく変更する場合があります。

ご注文先

株式会社 カイマンデンタル 〒102-0082 東京都千代田区一番町8番地15 一番町MYビル

FAX  **0800-700-9898** (24時間対応)
オーダー専用 フリーコール

TEL  **03-3238-7560** 受付時間：月～金(土・日・祝日休業)
09:00～18:00

商品のお届けについて

平日16:00までの注文分につきましては、当日発送いたします。

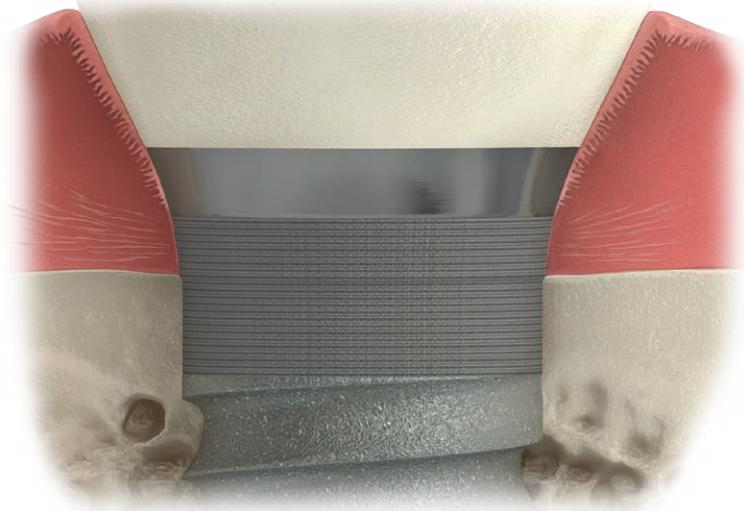
- 16:00以降の注文分につきましては、翌営業日の発送となります。また、タイム便・超速便については別途送料が必要となります。
- 製品によりご注文後2週間程度かかる場合があります。

※時間指定をご希望の場合はご注文時にお問い合わせください。

製造販売元/株式会社カイマンデンタル
製造元/バイオホライズンズインプラントシステムズ(米国)

BIOHORIZONS®

tapered tissue level

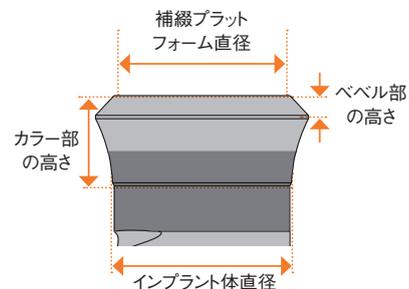
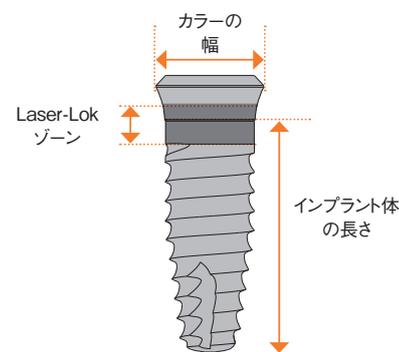


ティッシュレベルインプラント

ティッシュレベルインプラントは、カラー部が粘膜貫通している1回法の術式のインプラントです。カラー部のLaser-Lok表面が上皮細胞の根尖側移動を抑制し、結合組織の付着およびインプラント周囲の生物学的封鎖を作り出します。

ティッシュレベルインプラントのラインアップ

インプラント体直径	 3.0mm	 3.8mm	 4.6mm	 5.8mm	
補綴プラットフォーム直径	 3.5mm	 3.5mm	 4.5mm	 5.7mm	
Laser-Lokゾーン	2.0mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm	
尖端の直径	2.0mm	2.8mm	3.1mm	3.9mm	
カラー部の高さ	2.3mm	2.3mm	2.3mm	2.3mm	
ベベル部の高さ	0.5mm	0.5mm	0.5mm	0.5mm	
カラー部の最大径	4.5mm	4.5mm	5.5mm	6.7mm	
インプラント体の長さ	7.5mm	—	TTLY3807	TTLG4607	TTLB5807
	9.0mm	—	TTLY3809	TTLG4609	TTLB5809
	10.5mm	TTLY3010	TTLY3810	TTLG4610	TTLB5810
	12.0mm	TTLY3012	TTLY3812	TTLG4612	TTLB5812



- インプラント体表面はResorbable Blast Texturing (RBT)となっており、カラー部にはLaser-Lokが付与されています。
- 短時間の埋入と術野の見やすさを考慮したマウントフリータイプ。
- カバーキャップ同梱。Titanium Alloy (Ti-6Al-4V)

ティッシュレベルインプラント カバーキャップ&ヒーリングアバットメント

カバーキャップ



品番	補綴プラットフォーム直径
● PYCC	Ø3.5mm
● PGCC	Ø4.5mm
● PBCC	Ø5.7mm

- ・すべてのインプラントに同梱されています。歯肉縁下埋入の場合、手術後の治癒期間中に使用します。補綴プラットフォーム直径別に色分けされています。0.050" (1.25mm) ヘックドライバーを使って手指で締結してください。
- ・Titanium Alloy (Ti-6Al-4V)

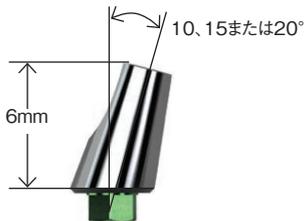
ティッシュレベルインプラント ヒーリングアバットメント



補綴プラットフォーム直径	アバットメント直径	高さ		
		2mm	3mm	4mm
φ3.5mm	φ5.0mm	SYHA20	SYHA30	SYHA40
φ4.5mm	φ6.0mm	SGHA20	SGHA30	SGHA40
φ5.7mm	φ7.5mm	SBHA20	SBHA30	SBHA40

- ・ティッシュレベルインプラント専用のヒーリングアバットメントです。0.050" (1.25mm) ヘックドライバーを使って手指で締結してください。
- ・Titanium Alloy (Ti-6Al-4V)
- ・口腔内で識別が簡単にできるレーザーマーキング。左側のSがティッシュレベルインプラント用の記号、真ん中のアルファベットが補綴プラットフォーム直径、右側の数字が高さです。

ティッシュレベルインプラント アングルドアバットメント



品番	補綴プラットフォーム直径
SYAA	φ3.5mm(10°アングルド)
SGAA	φ4.5mm(15°アングルド)
SBAA	φ5.7mm(20°アングルド)

- ・アバットメントスクリュー (製品番号 / PXAS) 同梱
- ・最終トルク : 30 Ncm
- ・Titanium alloy [Ti-6Al-4V]

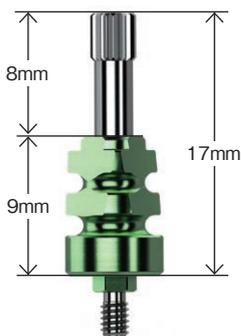
ティッシュレベルUCLAキャストブルアバットメント(ヘックスド) (ノンヘックスド)



品番	補綴プラットフォーム直径
SYCAH(ヘックスド)	φ3.5mm
SGCAH(ヘックスド)	φ4.5mm
SBCAH(ヘックスド)	φ5.7mm
SYCAN(ノンヘックスド)	φ3.5mm
SGCAN(ノンヘックスド)	φ4.5mm
SBCAN(ノンヘックスド)	φ5.7mm

- ・ベース部金合金
- ・アバットメントスクリュー (製品番号 / PXAS) 同梱
- ・最終トルク : 30 Ncm

ティッシュレベル ダイレクトピックアップコーピング(ヘックスド) (ノンヘックスド)



品番	補綴プラットフォーム直径
SYDCH(ヘックスド)	φ3.5mm
SGDCH(ヘックスド)	φ4.5mm
SBDCH(ヘックスド)	φ5.7mm
SYDCN(ノンヘックスド)	φ3.5mm
SGDCN(ノンヘックスド)	φ4.5mm
SBDCN(ノンヘックスド)	φ5.7mm

- ・ダイレクトコーピングスクリュー (製品番号 / PXDCSS) 同梱

ティッシュレベル インプラントアナログ



品番	補綴プラットフォーム直径
SYIA	φ3.5mm
SGIA	φ4.5mm
SBIA	φ5.7mm

- ・Titanium alloy [Ti-6Al-4V]
- ・ティッシュレベルインプラントにしか使用できません。

使用時の注意



本書はティッシュレベルインプラントならびに外科用器具をご使用の際にご参照ください。本書はあくまでバイオホライズンズ社製品の使用方法を説明するものであり、診断・治療計画、インプラント埋入の方法や手順の解説が目的ではありません。インプラント埋入ならびに治療を行う際には事前に適切な教育・訓練を受けることを強くお勧めします。

本書に記載した手順は、患者の骨および軟組織がインプラント埋入に対して理想的な状態にあることを前提としています。手術および補綴治療の結果に悪影響を及ぼすような、多様な患者の状態までは想定していません。本書に記載された解説はあくまでも推奨事項ですので、それぞれの症例に基づいた臨床的判断を優先してください。

バイオホライズンズ社インプラントを使用する埋入手術を始める前に：



- ・製品に同梱されている使用説明書をよく読んでください。
- ・使用説明書に従ってサージカルトレーおよび器具を洗浄滅菌してください。
- ・すべての器具とその使用方法に十分慣れておいてください。
- ・サージカルキットのレイアウト、色分け方式、マーク類を覚えてください。
- ・理想的な補綴形態となるよう外科治療計画を立ててください。



直径が小さいインプラントは前歯部での使用を前提にしています。臼歯部での使用はインプラントの失敗につながる可能性がありますのでおやめください。

適応症

ティッシュレベルインプラントを含む当社のテーパードインプラントは単独歯修復もしくは固定式ブリッジならびにリテンションとして、上下顎に使用します。即時修復も可能ですが、その場合は下記の条件を満たす必要があります。

- 1) 機能的咬合をさせない暫間補綴物を装着すること。
- 2) 複数歯修復を目的としてインプラントどうしでスプリントする、あるいは複数のインプラントでオーバーデンチャーを安定して支持すること。

ティッシュレベルインプラント 3.0mm については、下顎の中切歯および側切歯、ならびに上顎の側切歯の単独歯修復に使用することが可能です。即時修復も可能ですが、その場合は下記の条件を満たす必要があります。

- 1) 機能的咬合をさせない暫間補綴物を装着すること。
- 2) 下顎切歯の複数歯修復を目的としてインプラントどうしでスプリントする、あるいは複数のインプラントで上下顎の前歯部のオーバーデンチャーを安定して支持すること。

高い初期固定と適切な咬合荷重が得られた場合には、即時機能埋入をすることも可能です。

一回法の術式

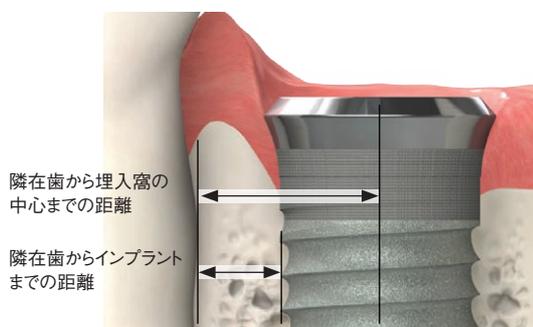


一回法の術式における、ヒーリングアバットメントを装着したティッシュレベルインプラント

一回法の術式では、インプラント埋入時にヒーリングアバットメントを装着するため、二次手術が不要になります。インプラントには咬合機能を付与しませんが、粘膜から露出しているため何らかの力が伝わる可能性があります。

補綴治療は、インプラントのオッセオインテグレーション獲得および軟組織治癒後に開始します。

インプラントと歯牙の場合

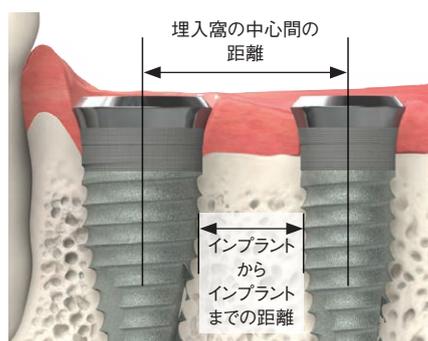


インプラントと歯牙のスペースを維持するために必要となる、隣在歯から埋入窩の中心までの距離は、インプラント体直径の $1/2 +$ 望ましいスペースを確保した距離になります。



インプラントの埋入に際しては、患者により適切な埋入間隔が異なりますので、臨床医(担当医)は自身で最善の判断を下してください。

インプラント間の場合



2本のインプラント間のスペースを維持するために必要となる、埋入窩の中心間の距離は、2本のインプラント体直径の合計の $1/2 +$ 望ましいスペースを確保した距離になります。

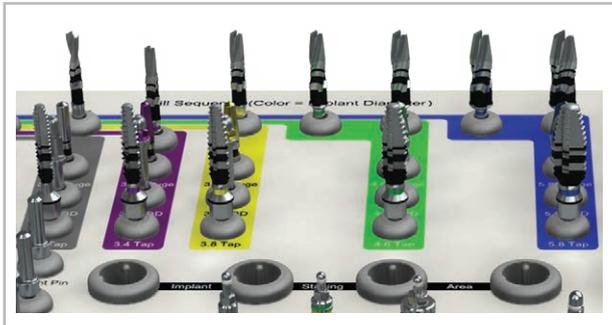


インプラントの埋入に際しては、患者により適切な埋入間隔が異なりますので、臨床医(担当医)は自身で最善の判断を下してください。

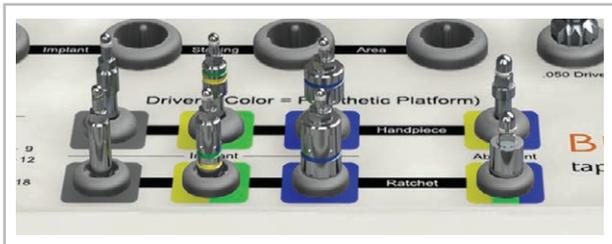
サージカルキット&ドリルシーケンス

サージカルキットの使用方法

サージカルキットは術者が迷わず順番に器具を使用できるようなレイアウトになっています。まず左上の端から始まり、左から右、更に下段へと使用していきます。



ドリルのセクションはインプラント体直径によりカラーコード化されています。



インプラントドライバーのセクションはインプラントの補綴プラットフォーム直径によりカラーコード化されています。

使用前には使用説明書に従ってサージカルトレイおよび器具を洗浄・滅菌します。また、キットのレイアウト、色分け方式、マーク類を覚えてください。助手もすべての器具類とその使用方法に十分慣れておいてください。

ドリルシーケンス

3.0mm インプラント体直径	2.0	2.5	2.8	3.2	3.7	4.1	4.7	5.4				
3.4mm インプラント体直径												
3.8mm インプラント体直径												
4.6mm インプラント体直径												
5.8mm インプラント体直径												
	HDドリル手順								HDデブスガイド	HDカウンターシンクドリル	HDボーンタップ	インプラントレベルのドライバー

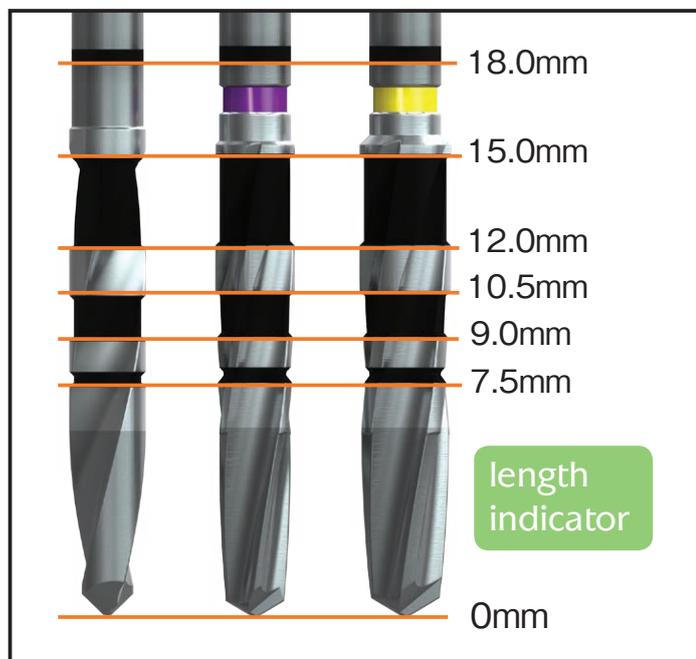
※ 2.8mmドリルは、3.4mm直径のインプラント体にも使用します。

ドリルのマーキング&使用上の注意

ドリルのマーキング

テーパードサージカルキットに含まれるドリルはすべて外部注水式です。生理食塩水で常時注水を行いながら1,200rpm 以下*で使用してください。柔らかい骨質あるいはドリルの直径が大きい場合は回転速度を下げてかまいません。

*実際の適正回転数は症例によって異なりますので、それぞれの症例に基づいた臨床的判断を優先してください。



注意:深度の目盛はスタータードリル、デブドリル、埋入床拡大ドリルすべて共通です。

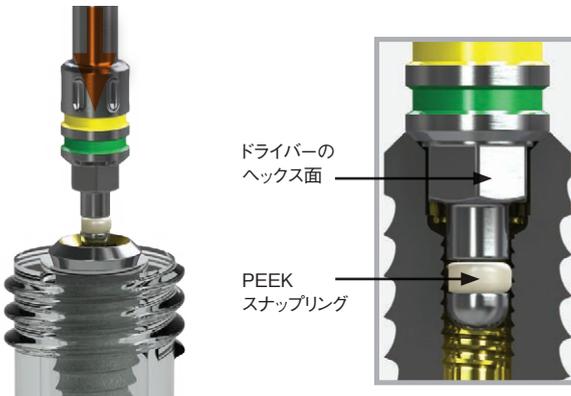
ドリル使用に際しての注意

- ・ドリル使用中は生理食塩水を常時注水してください。骨の過熱を防止するためポンピング操作で形成を行います。サージカルドリルならびにボーンタップが摩耗もしくは切れ味が悪くなる、腐食が見られるなどした場合は交換してください。12～20回の埋入窩形成がドリル交換の目安です。
- ・下顎臼歯部へのドリリングは下顎神経を傷つける恐れがあります。神経損傷のリスクを最小限に抑えるために、術者はドリルの深度目盛を理解し、計画通りの深度にインプラントを埋入できるよう、インプラント体の長さとのドリルの深度目盛の関係を十分理解することが絶対条件です。

インプラントの取り出し&埋入

インプラントの取り出し

バイアルキャップはインプラント体の直径により色分けされています (3.0mm =グレー、3.8mm =イエロー、4.6mm =グリーン、5.8mm =ブルー)。カバーキャップとインプラントドライバーは補綴プラットフォームにより色分けされています (3.5mm= イエロー、4.5mm =グリーン、 5.8mm =ブルー)。



マウントフリーインプラント

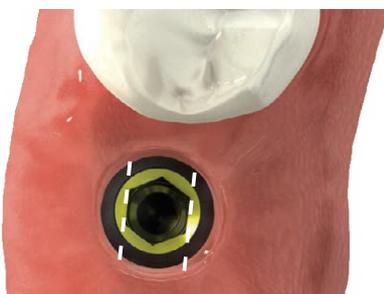
補綴プラットフォームに合ったインプラントレベルのドライバーをインプラントに差し込み、PEEK スナップリングで嵌合させます。

インプラントの埋入

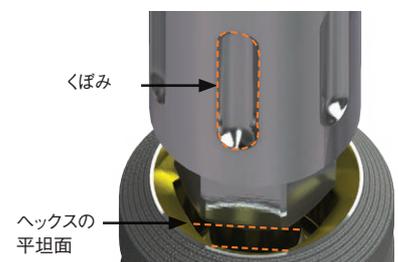


インプラントの先端を埋入窩に挿入し、ゆっくりと回していきます。根尖部にゆっくりと力をかけて回転させるとドライバーのヘックス面がインプラント内部に嵌合します。埋入の途中で力がかかり過ぎていると感じたら、インプラントを取り出し、適切なカウンターシンクドリルもしくはボーンタップで骨孔を修正し、埋入トルクを下げる必要があります。

内部ヘックスの向き



インプラント埋入時に、ドライバーについているくぼみを目印にして、インプラント内部ヘックスの平坦面のいずれかを唇側もしくは頬側に合わせ、インプラントの方向を調整します。そうすることで、アングルドアバットメントの角度補正ができます。



術後に考慮すべき要件

インプラントのオッセオインテグレーションを獲得するため、荷重をかけない治癒期間をおくよう推奨されることがよくありますが、各々の患者の治癒速度とインプラント埋入部位の骨質によってオッセオインテグレーションの度合いは違います。実際の症例に従い個別に評価をする必要があります。

埋入手術後24時間は冷湿布などの術後管理に従うよう患者を指導します。食事は軟らかいものとし、場合によっては栄養補助食品も摂取します。患者の状態によっては薬物療法も検討します。

初期治癒期間に可撤式補綴物を装着する場合は、埋入部位に咬合圧がかからないようにします。ソフトライナーを使用する前にインプラント埋入部位に当たる部分をリリーフしておきます。臨床診査ならびにX線検査を行い、患者の軟組織および骨治癒の状態を定期的に観察します。

インプラント患者には継続的な口腔清掃が必須です。3ヶ月に1度のリコールを推奨します。

医療機器承認番号	22200BZX00876000 22300BZX00027000 22400BZX00224000 22900BZX00343000	エマーゼンスプロファイルヒーリングアバットメント 補綴コンポーネントII チタニウムテンポラリーアバットメント「カイマン」 ティッシュレベルインプラントシステム
医療機器認証番号	229AGBZX00003000 229AGBZX00080000	BHドリル サージカルキットTSK4000
医療機器届出番号	13B1X10031000014 13B1X10031000015 13B1X10031000023	アンシラリーツール インプレッションツール アンシラリーツールIII

Caiman Dental

株式会社 カイマンデンタル

〒102-0082 東京都千代田区一番町8番地15 一番町MYビル

TEL.03-3238-7560/FAX.03-3238-7561

<http://www.caimandental.com>

**BIOHORIZONS**[®]

2018.04AMS

